

山本 テオ



1988年からニューヨーク市、マンハッタン
在住の詩人、ビジュアル・アーティスト。
大阪府生まれ。

思春期から詩を書きはじめ、渡米後は日本語
の詩を国内の同人誌などで発表してきた。
日本におけるモダニズム詩・視覚詩の立役者で
ある藤富保男に師事。

これまでに、詩集『走る神』、『青鬼草』、『尻尾笑傳』や、詩と絵を合わせて日英バイリンガルで書かれた『普通の明日』、『マンハッタンコード』を出版している。

ビジュアル・アーティストとしては“CODE～絵のような詩のような絵”というシリーズを中心に、＜詩を書くように絵を描く＞というテーマに焦点を置いている。

ドローイングや視覚詩の作品は、ニューヨーク、パリ、東京、大阪などで個展を開き、アメリカ、イタリア、スペイン、フランス、モナコなどのグループ展に参加してきた。

ときに音楽家などと一緒に、詩の朗読パフォーマンスも行う。

2026.06.10

山本テオ